

社会的責任(SR)が拓く、

あなたの組織は、ISO26000をどう活かせるか。

組織
力
ア
ッ
プ
。

「持続可能な社会の実現」に向けて！

- 国際規格「ISO26000」が2010年11月に成立。
- 「新しい実践」である「マルチステークホルダープロセス」による合意形成。
- あらゆる組織が社会的責任(SR)に対する取組みを始動。

社会的責任(SR)の実践に向けて！

- 評価の視点から、効果的な実践へ。
- 指標作成の視点から、可視化する実践へ。

あらゆる組織の実践を可視化し、組織運営を適切に評価していくための指標でもあるISO26000を効果的に活用していくためには…。「評価」をキーワードに参加者とともに考えます。

第1部/基調報告：国際規格 ISO26000の意義とSRの最新動向

講師/田村太郎 ダイバーシティ研究所(NNネット幹事団体)代表理事

あらゆる組織に求められるSRの重要性とISO26000の成立の意義を確認。併せて、SR円卓会議「ともに生きる社会の形成ワーキンググループ(旧)」で検討を進めている指標作成をふまえ、SRの最新動向について報告。

講演：実践へ活かす評価のあり方を考える—「評価」をめぐる現状と課題をふまえて

講師/山谷清志 同志社大学政策学部教授

ODA評価及び政策評価など幅広い評価の視点をふまえ、実践に活かす評価のあり方について講演。

第2部/トークセッション

スピーカー/山谷清志、田村太郎

日時 3月2日(金) 午後6時30分～8時30分

会場 名古屋市男女平等参画推進センター「つながれっとNAGOYA」セミナールーム1

参加費 一般/2,000円、NNネット会員/1,500円

定員 45名(先着順)

主催 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(NNネット)

共催 一般財団法人ダイバーシティ研究所、特定非営利活動法人 参画プラネット、男女共同参画を推進する評価研究会

問合せ/申込先 特定非営利活動法人 参画プラネット事務局

TEL:052-249-7277 FAX:052-249-7278

Email:sankaku@estate.ocn.ne.jp

名古屋市男女平等参画推進センター「つながれっとNAGOYA」 〒460-0012 名古屋市中区千代田5-18-24

